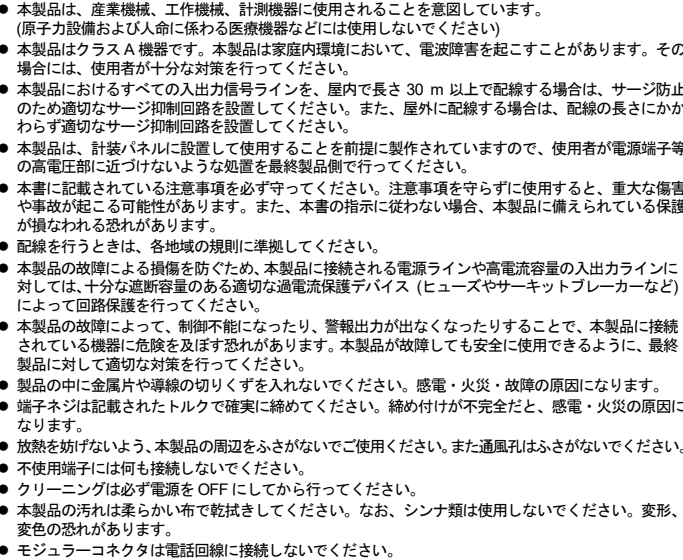




詳細な取り扱いや各機能の操作などについては、別冊の **COM-ME-3 [FZ シリーズ/GZ シリーズ対応版] 取扱説明書 (IMR02E35-JC)** を参照してください。別冊の説明書は、当社ホームページからダウンロードできます (<https://www.rkcinst.co.jp/download-center/>)。

COM-ME-3 [FZ シリーズ / GZ シリーズ対応版] 設置・配線説明書 (本書).....	1
連結コネクタカバー (KSRZ-517A)	2
電源端子カバー (KSRZ-518A)	1
ESI ファイル *	ダウンロード

- 本製品の故障や異常によるシステムの重大な事故を防ぐため、外部に適切な保護回路を設置してください。
- すべての配線が終了するまで電源を ON にしないでください。
感電・火災・故障の原因になります。
- 本製品は、記載された仕様の範囲外で使用しないでください。
火災・故障の原因になります。
- 引火性・爆発性ガスのあるところでは使用しないでください。
- 電源端子など高電圧部に触らないでください。
感電の恐れがあります。
- 本製品の分解、修理、および改造はしないでください。
感電・火災・故障の原因になります。



本書では、読者が電気関係、制御関係、コンピュータ関係および通信関係などの基礎知識を持っていることを前提としています。

- 本書で使用している図や数値例、画面例は、本書を理解しやすいように記載したものであり、その結果の動作を保証するものではありません。
- 以下に示す損害をユーザーや第三者が被っても、当社は一切の責任を負いません。
 - 本製品を使用した結果の影響による損害
 - 当社において予測不可能な本製品の欠陥による損害
 - 本製品の模倣品を使用した結果による損害
 - その他、すべての間接的損害
- 本製品を継続的に安全にご使用いただくために、定期的なメンテナンスが必要です。本製品の搭載部品には寿命があるものと経年変化するものがあります。
- 本書の記載内容も、お断りなく変更することがあります。本書の内容については、万全を期しておりますが、万一ご不審な点や気づきの点がありましたら、当社までご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で転載、複製することを禁じます。
- 本製品で使用されている記号には以下のものがあります。

大量破壊兵器等（軍事用途・軍事設備等）で使用されることがない様、最終用途や最終客先を調査してください。なお、再販売についても不正に輸出されないよう、十分に注意してください。

The diagram illustrates the connection of an EtherCAT network to a set of slave units. At the top, a horizontal double-headed arrow is labeled "EtherCAT". On the left, a box labeled "EtherCAT 通信変換器 COM-ME-3" (EtherCAT communication converter COM-ME-3) is connected to the EtherCAT line. Below this box, the text "EtherCAT" is written. To the right of the converter are three slave units, labeled "FZ シリーズまたは GZ シリーズ (最大 31 台)" (FZ series or GZ series (maximum 31 units)). Each slave unit has a display screen and several status LEDs. At the bottom, a horizontal line with arrows at both ends is labeled "コントローラ通信 (RS-485: MODBUS)" (Controller communication (RS-485: MODBUS)). Vertical lines connect the bottom of each slave unit to this communication line.

正面図

左側面図

ロダ通信コネクタ

EtherCAT アドレス設定 (x100)

EtherCAT アドレス設定 (x10)

EtherCAT アドレス設定 (x1)

表示ランプ Link/Activity (ポート 1)

EtherCAT コネクタ[ECAT OUT] (ポート 1)

表示ランプ OPT (ポート 1)

表示ランプ Link/Activity (ポート 2)

EtherCAT コネクタ[ECAT IN] (ポート 2)

表示ランプ OPT (ポート 2)

FG 端子

表示ランプ BRD FLT

表示ランプ RX/TX

表示ランプ HRT/XT

表示ランプ 24V

表示ランプ FW OP MD

表示ランプ FW DWNLD

表示ランプ DRVVR FLT

表示ランプ RUN

表示ランプ ERR

表示ランプ 3.4V

表示ランプ 1.0V

ディップスイッチ

ベース部

COM-ME 本体

* シングルフラッシュ: 200 ms 点灯/1000 ms 消灯を繰り返す。
ダブルフラッシュ: 200 ms 点灯/200 ms 消灯/200 ms 点灯/1000 ms 消灯を繰り返す。

スイッチ	
EtherCAT アドレス設定 スイッチ (ID セレクタ) (×100, ×10, ×1)	EtherCAT の固定アドレス (16 進数) を設定します。 Explicit Device Identification (Requesting ID 方式) と Configured Station Alias に対応しています。 起動時に ESC (EtherCAT Slave Controller) のレジスタ 0x0012 (Configured Station Alias) に、設定したアドレスが書き込まれます。
ディップスイッチ	- コントローラ通信の通信速度を設定します。 - ディップスイッチ設定の有効・無効を設定します。

端子	
FG 端子	接地用の端子です。

取付用ネジ穴 (M3 ネジ用)
パネルなどにベースを固定するためのネジ穴です。M3 ネジはお客様で用意してください。

連結用コネクタ
機能モジュールを連結するためのコネクタです。

電源端子
COM-ME に電源を供給するための端子です。

通信端子 (RS-485)
コントローラと接続するための端子です。

取付具
COM-ME を DIN レールに固定します。

感電防止および機器故障防止のため、必ず電源を OFF にしてから本機器の取り付け、取り外しを行ってください。

(1) 本機器は、つぎの環境仕様で使用されることを意図しています。(IEC 61010-1) [汚染度 2]

(2) 次の周囲温度、周囲湿度の範囲内で使用してください。

- ・許容周囲温度: $-10 \sim +55^{\circ}\text{C}$
- ・許容周囲湿度: $5 \sim 95\% \text{RH}$ (絶対湿度: MAX. W. C 29 g/m^3 dry air at 101.3 kPa)
- ・設置環境条件: 屋内使用 高度 2000 m まで

(3) 特に、つぎのような場所への取り付けは避けてください。

- ・温度変化が急激で結露するような場所
- ・腐食性ガス、可燃性ガスが発生する場所
- ・本体に直接振動、衝撃が伝わるような場所
- ・水、油、薬品、蒸気、湯気のかかる場所
- ・塵埃、塩分、鉄分の多い場所
- ・誘導障害が大きく、静電気、磁気、ノイズが発生しやすい場所
- ・冷暖房の空気が直接あたる場所
- ・直射日光の当たる場所
- ・輻射熱などによる熱蓄積の生じるような場所

(4) 取り付けを行う場合は、つぎのことを考慮してください。

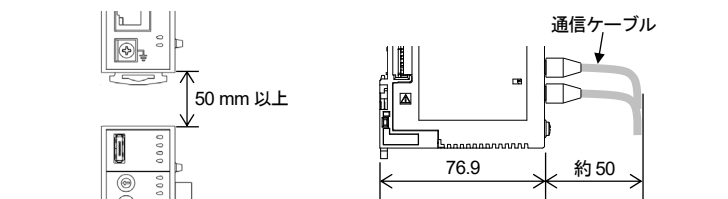
- ・配線、保守、耐環境を考慮し、機器の上下は 50 mm 以上のスペースを確保してください。
- ・発熱性の大きい機器 (ヒータ、トランス、半導体操作器、大容量の抵抗) の真上に取り付けるのは避けてください。
- ・周囲温度が 55°C 以上になるときは、強制ファンやクーラーなどで冷却してください。
- ・耐ノイズ性能や安全性を向上させるため、高圧機器、動力線、動力機器からできるだけ離して取り付けてください。

高圧機器: 同じ盤内での取り付けはしないでください。
動力線: 200 mm 以上離して取り付けてください。
動力機器: できるだけ離して取り付けてください。

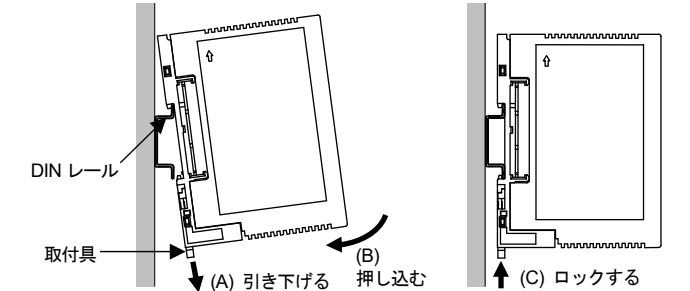
- ・COM-ME は連結しないでください。連結した場合、正常に通信が行えません。

(5) 本機器の近くで、かつすぐに操作できる場所に、スイッチやサーキットブレーカーを設置してください。また、それらは本機器用の遮断デバイスであることを明示してください。

- COM-ME 上下間の取付間隔
COM-ME 本体の取り付けや取り外し時には、COM-ME 本体を少し斜めにする必要があるため、COM-ME の上下間に 50 mm 以上のスペースを確保してください。
- 通信ケーブル取付時の奥行き
通信ケーブルの配線スペースを考慮して、取り付けください。
- (単位: mm)



1. 取付具を引き下げ (A)、裏面のツメを DIN レールの上側に引っかけてから、矢印の方向に押し込みます (B)。
2. 取付具を押し込んで、DIN レールから外れないようにロックします (C)。

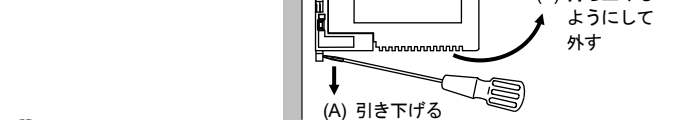


1. 電源を OFF にします。

2. 配線を外します。

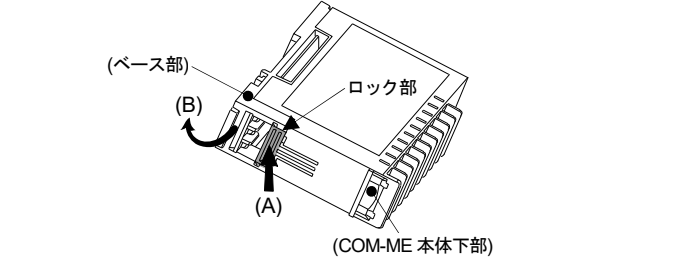
3. マイナスドライバなどで
取付具を引き下げてから (A)、
下側から機器を持ち上げる
ようにして外します (B)。

(B) 持ち上げる



ネジ取り付けについて
ネジでの取り付けも可能です。取付方法は、COM-ME-3 [FZ シリーズ/GZ シリーズ対応版] 取扱説明書 (IMR02E35-J□) を参照してください。

ロック部を押した状態で (A)、COM-ME 本体からベース部を取り外します (B)。



感電防止および機器故障防止のため、すべての配線が終了するまで電源を ON にしないでください。また、本機器への通電前には配線が正しいことを必ず確認してください。

- 通信線はノイズ誘導の影響を避けるため、計器電源線、動力電源線、負荷線から離して配線してください。
- 計器電源は、動力電源からのノイズ影響を受けないように配線してください。ノイズの影響を受けやすい場合には、ノイズフィルタの使用を推奨します。
 - 線材はより合わせてください。より合わせのピッチが短いほどノイズに対して効果的です。
 - ノイズフィルタは必ず接地されているパネル等に取り付け、ノイズフィルタ出力側と電源端子の配線は最短で行ってください。
 - ノイズフィルタ出力側の配線にヒューズ、スイッチなどを取り付けると、フィルタとしての効果が悪くなりますので行わないでください。
- 電源供給線は、電圧降下の少ない電線をテストしたうえで使用してください。
- 24V 電源仕様製品には、電源に SELV 回路 (IEC 60950-1) からの電源を供給してください。
- 最終用途機器には、適切な電源を供給してください。
 - 電源はエネルギー制限回路に適合 (最大電流 5.6 A) するもの
 - 電源は、電源 ON 時の突入電流値に対応できるものを選定してください。
- 消費電力 (最大負荷時): 最大 150 mA (DC 24 V 時)
最大電流: 15 A 以下
- 端子の配線には、端子間絶縁のため、必ず指定の圧着端子を使用してください。

端子ネジサイズ: 電源端子、通信端子: M3×7 (5.8 × 5.8 角座付き)
FG 端子: M3×6

推奨締付トルク: 0.4 N・m
適用線材: 0.25~1.65 mm² の単線または撚り線
指定圧着端子: 絶縁線付丸形端子 V1-25-M3
日本圧着端子製造 (株) 製

5.6 mm

9.0 mm

- 圧着端子などの導体部分が、隣接した導体部分 (端子等) と接触しないように注意してください。

